資料4

新潟県立病院経営強化プランの取扱いについて

令和８年10月21日
県立病院経営委員会

新潟県立病院経営強化プランの取扱いについて①

● 経営強化プランの策定について

➢ 新潟県病院局では、国の公立病院経営強化ガイドラインに基づき、令和6～9年度を計画期間とする県立病院の中期計画となる「新潟県立病院経営強化プラン」を令和6年3月に策定

（策定の主旨）
- 持続可能な地域医療提供体制を確保するため、個々の公立病院が地域医療構想等を踏まえて、地域において果たすべき役割・機能を改めて見直し、明確化・最適化をする。
- 地域の医療提供体制を確保し、良質な医療を継続的に提供していくためには、経営の効率化を図る必要があり、個々の病院単位を基本として数値目標を定める。

（プランの主な内容）
- 地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能
- 経営指標に係る数値目標

● 経営強化プランの取扱い方針（R6年度）

【令和６年度経営委員会における方針決定事項（R6.9.18）】

➢ 本プランについては、従前の経営状況等の下で調製したものであり、コロナ禍後の受療動向の変化や急激な物価高騰など、現下の厳しい経営状況等を十分に踏まえた内容となっていない。

➢ 令和7年度末にも県立病院事業の内部留保資金の枯渇が危ぶまれる厳しい経営状況を受け、令和6年4月以降、経営状況の精査を行い、改革の方針を検討したところ、病院の再編統合など、プランの内容との齟齬が生じているため、今後の改革の方向性に即してプランを見直していく。

新潟県立病院経営強化プランの取扱いについて②

- 具体の改革の方針決定に向けて
  - 令和8年度当初予算発表時（令和8年2月）に、各病院における今後の改革（機能・規模の適正化）の方向性を示したところであるが、**具体の方針決定に向けては、**県病院局の一存で決定することはできず、地域における医療需要や持続可能性を踏まえ、**地元市町村や周辺医療機関をはじめとする関係者との調整・協議を丁寧に進めていく必要があり、一定の時間を要する。**

機能・規模の適正化について

※ 病床数は、令和8年4月時点（見込）

実施済

年度	病院名	内 容	削減病床数	改善見込額
R6	加茂病院	・地域密着型病院として回復期機能を強化・患者数減少に合わせ病棟スリム化 ・指定管理者へ運営を移行（社会医療法人崇徳会）	88床 （168床→80床）	5.3億円 （R6決算）
	吉田病院	・地域密着型病院として回復期機能を強化・患者数減少に合わせ病棟スリム化 ・指定管理者へ運営を移行（医療法人愛広会）	89床 （199床→110床）	
R7	リウマチセンター	・新発田病院への統合（複合疾患への対応強化） ・患者数の減少に合わせ病棟スリム化	48床 （100床→52床）	1.6億円
	坂町病院	・地域密着型病院として回復期機能を強化 ・患者数の減少に合わせ病棟スリム化	21床 （120床→99床）	1.5億円
	がんセンター	・がんゲノム医療、治験・臨床試験の推進 ・患者数の減少に合わせ病棟スリム化	37床 （404床→367床）	2.3億円
R8	松代病院 （まつだい診療センター）	・入院機能を十日町病院に移行 ・地域の身近な医療（プライマリ・ケア）を支える拠点（診療所）に変更	39床 （39床→0床）	3.3億円
	十日町病院	・病棟機能を見直し、回復期機能を強化 （急性期4、回復期1→急性期3、回復期2）	25床 （275床→250床）	
※ これまで実施した病院についても、地域の医療需要等を踏まえ、不断に見直しを検討・実施する。			347床	14.0億円

今後実施

病院名	方向性	
中央病院（530床）	・上越圏域の中期再編の中で検討を進める	圏域の中核病院として、運営方法含め機能・収益性の強化
柿崎病院（55床）		地域の医療需要・持続可能性を踏まえ、機能・規模を見直し
妙高病院（47床）		地域の医療需要・持続可能性を踏まえ、機能・規模を見直し
新発田病院（519床）	・下越圏域の中核病院としての機能・収益性の強化を進める	
津川病院（42床）	・地域の医療需要・持続可能性を踏まえ、町・医療・介護等の地域包括ケアシステム関係者の協議の場を設置	
がんセンター（367床）	・国が令和10年度を目指し進めているがん診療提供体制の均てん化・集約化の議論や、令和10年度に新潟大学へ設置予定の小児医療専門施設などの状況を踏まえ、あり方検討を進める	
精神医療センター（189床）	・令和8年度に策定予定の新たな地域医療構想における精神医療の位置付けの議論を踏まえて検討するとともに機能・収益性を強化	

-6-

【病院事業会計令和8年度当初予算説明資料】

- 今後の経営強化プランの取扱い方針（案）

【今後の取扱い（案）】

- 次期プランの策定までの間は、**毎年度、内部留保資金の枯渇回避を最優先とした病院ごとの経営目標を設定し、進捗管理を行っていくこととしたい。**